

経済レポート

2017(平成29)年度 新入社員意識調査アンケート結果【名古屋版】

～周囲に寛容さを求める男性社員、出世にこだわらない女性社員～

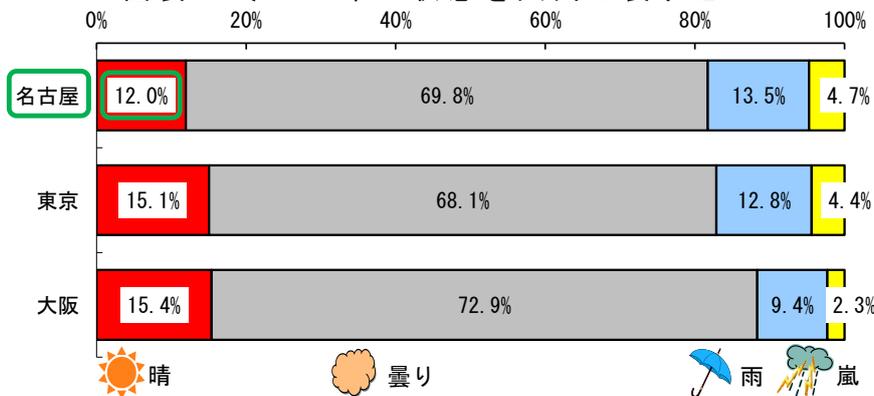
調査部 研究員 土志田 るり子

○日本の現状に対する見方は厳しい

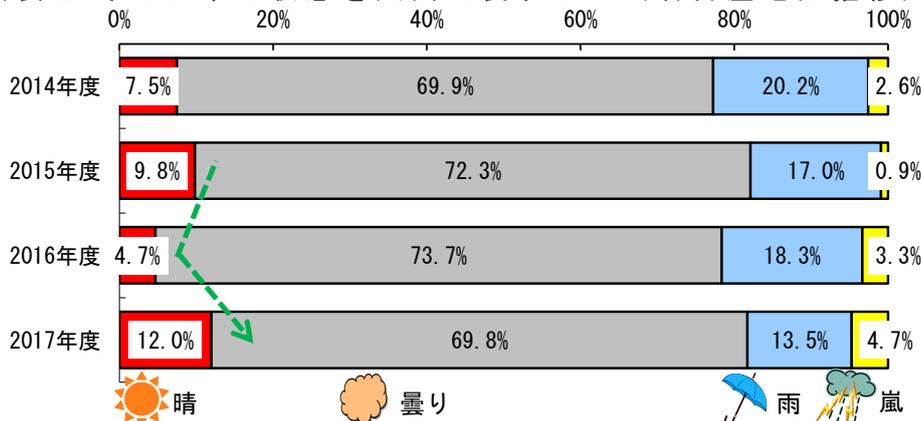
今の日本の状態をどう思うか新入社員に天気（晴、曇り、雨、嵐）で表してもらったところ、最も多く選ばれたのは「曇り」（69.8%）であった（図表1）。「晴」と答えた人の割合は12.0%にとどまり、東京（15.1%）や大阪（15.4%）よりも厳しい見方が示された。東海地方は製造業比率が高く、輸出企業が多いため、地域経済が為替の変動や海外の保護主義的な政策の影響を受けやすい。足元の国内景気は回復しているものの、これらの要素については引き続き先行き不透明感が強く、他の地域よりも現状の判断が下押しされている可能性がある。

もっとも、2014年度以降では「晴」と答えた人の割合が最も高く、反対に「曇り」や「雨」の割合は低い（図表2）。全国と同様に、景気が持ち直す中で新入社員の心理は改善していると考えられる。

図表1 今の日本の状態を天気で表すと？



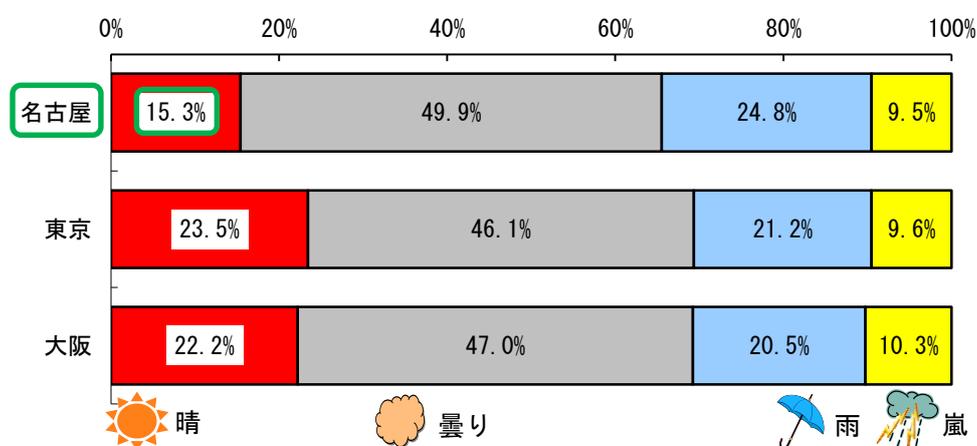
図表2 今の日本の状態を天気で表すと？（名古屋地区推移）



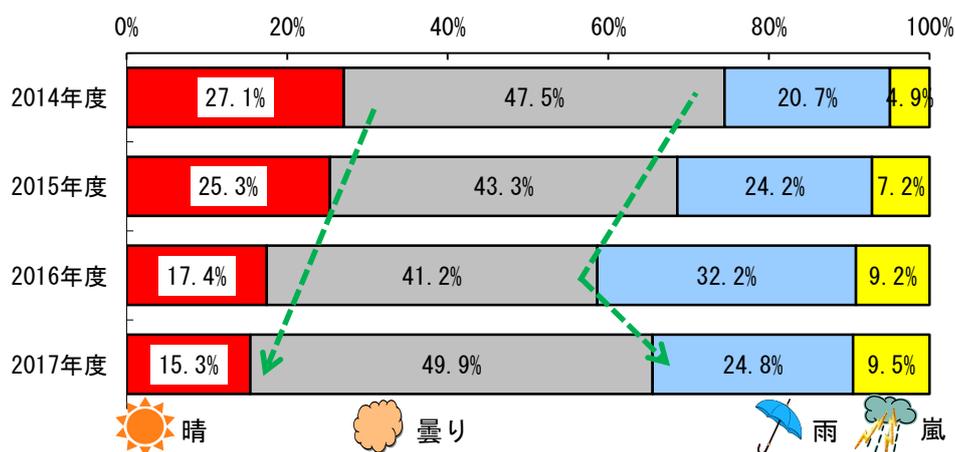
また、10年後の日本の状態についても尋ねたところ、現状に対する質問と同様に「曇り」（49.9%）と答えた人が最も多かった（図表3）。一方、「晴」と答えた人の割合は15.3%と、現在に対する見方よりはやや高まっているが、「雨」（24.8%）や「嵐」（9.5%）の回答割合がそれを上回って上昇しており、日本の先行きに対する見方は厳しいものとなっている。

さらに2014年度以降の推移を見ると、「晴」と答えた人の割合は低下が続いている。ただし、「雨」や「嵐」という回答の割合は2016年度からは低下した（図表4）。先行きに対する悲観的な見方は後退しているものの、先行き不透明感は増しているようだ。

図表3 10年後の日本の状態を天気で表すと？



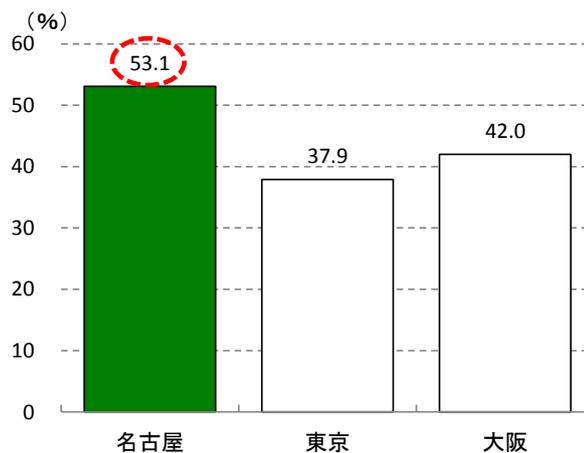
図表4 10年後の日本の状態を天気で表すと？（名古屋地区推移）



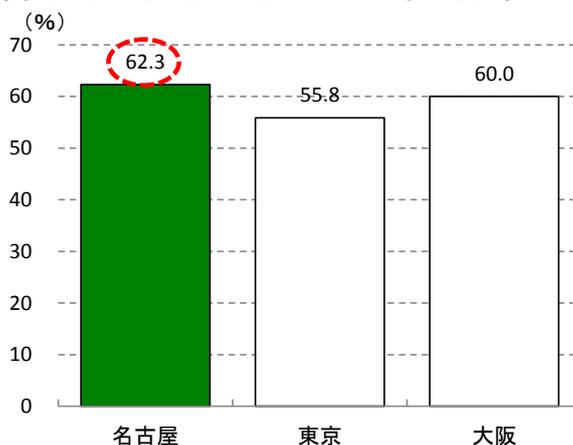
## ○周囲に寛容さを求める名古屋の男性

男性の新入社員に会社を選んだ基準を聞いたところ、東京や大阪と同様に「雰囲気がよい」(53.1%)という回答が最も多かったが、回答割合を見ると東京や大阪より高い比率であった(図表5)。また、仕事・職場生活に関して不安なことを尋ねると、「上司・先輩・同僚との人間関係」(62.3%)を挙げた人が最も多く、他地域と比べても回答比率が高かった(図表6)。

図表5 会社を選んだ基準—「雰囲気がよい」(男性)



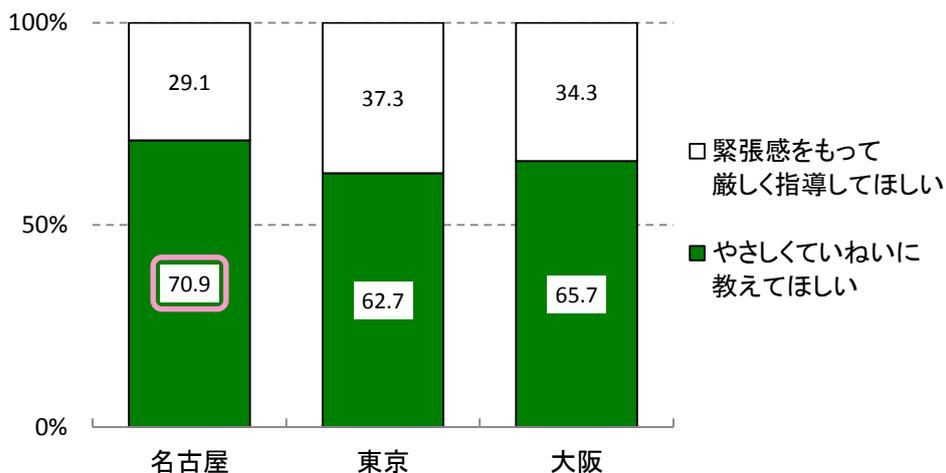
図表6 仕事・職場生活に関して不安なこと—「上司・先輩・同僚との人間関係」(男性)



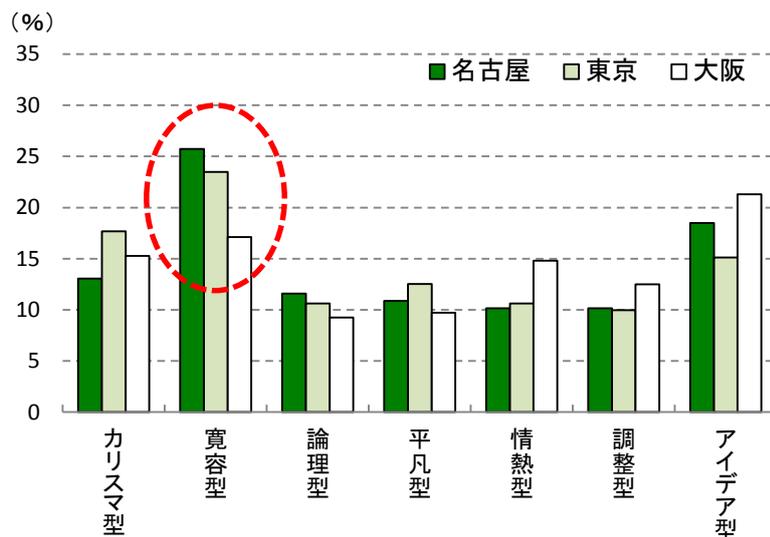
さらに、指導のされ方について、「緊張感を持って厳しく指導してほしい」と「やさしくていねいに教えてほしい」のうち、自分の考えに近い方を選んでもらったところ、70.9%が「やさしくていねいに教えてほしい」と回答した(図表7)。名古屋の男性は他の地域と比べて、より穏やかな人間関係を望んでいるようだ。

名古屋の新入社員全体の理想の上司像を聞いた結果を男性だけに限って見ると、「寛容型」を選んだ人の割合が他地域よりも高く、周囲の人には自分を広い心で受け入れてくれる寛容さを求めているとみられる(図表8)。

図表 7 希望する指導のされ方（男性）



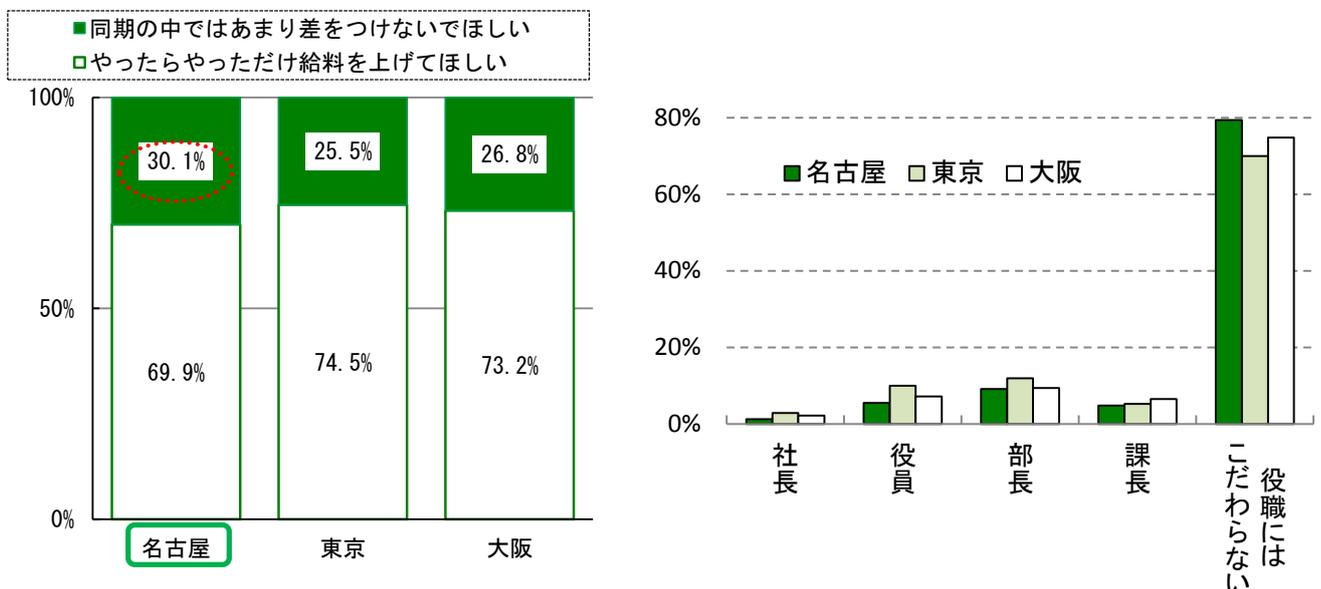
図表 8 理想の上司像（男性）



## ○出世にこだわらない名古屋の女性

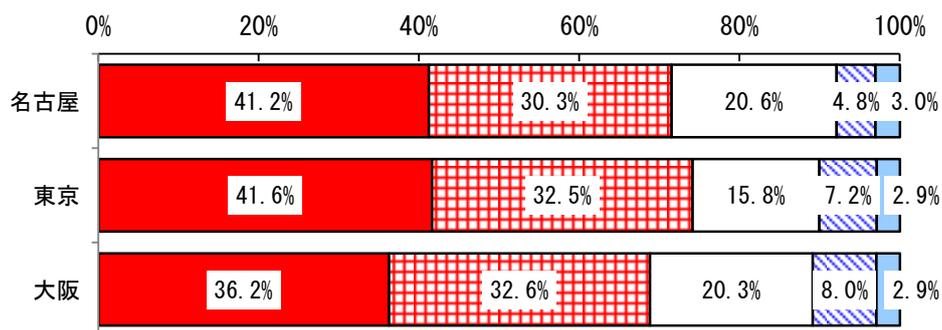
女性の新入社員に「やったらやっただけ給料を上げてほしい」、「同期の中ではあまり差をつけなくてほしい」のうち、どちらが自身の考えに近いか尋ねると、「やったらやっただけ給料を上げてほしい」（69.9%）が多数を占めたものの、「同期の中ではあまり差をつけなくてほしい」との回答が東京や大阪を上回った（図表9左）。また、出世について「将来、どれ位の役職まで出世したいか」という問いに対し、「役職にはこだわらない」（79.3%）と回答した女性の比率が最も高かったのが名古屋であった（図表9右）。名古屋の女性は他地域と比べて競争を好まず、また、出世についても具体的なイメージを持っていない新入社員が多いとみられる。

図表9 出世意欲（女性）



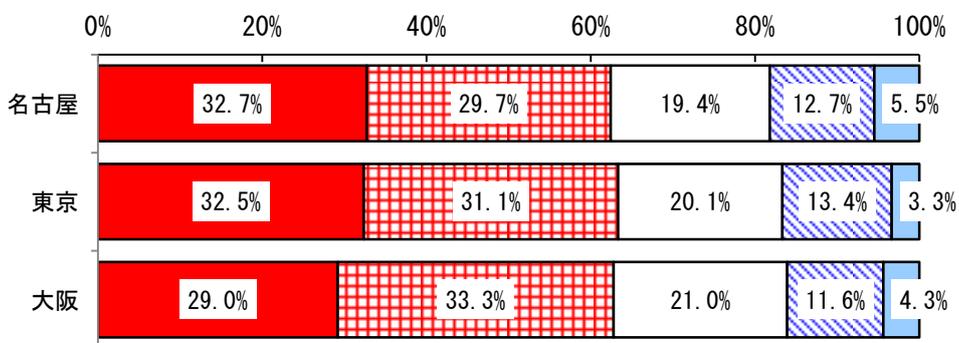
さらに、仕事とライフ・イベントに関する考え方を尋ねると、「結婚後」、「子どもが生まれた後」とも、「続けたい」と「できれば続けたい」という前向きな回答が過半数となった（図表10、11）。しかし、「できれば続けたくない」と「続けたくない」という回答に限ってみると、結婚を機に仕事を辞めることを考えている女性（合わせて7.8%）は他地域よりも少ない一方で、子どもが生まれた後に仕事を辞めることを考えている人（合わせて18.2%）が多いこともわかった。名古屋の女性の出世にこだわらない姿には、今の会社に長く勤めないと考えている人が他地域よりやや多いことも反映されている可能性がある。

図表 10 結婚後も仕事を続けたいか（女性）



■続けたい □できれば続けたい □どちらでもよい □できれば続けたくない □続けたくない

図表 11 子どもが生まれた後も仕事を続けたいか（女性）



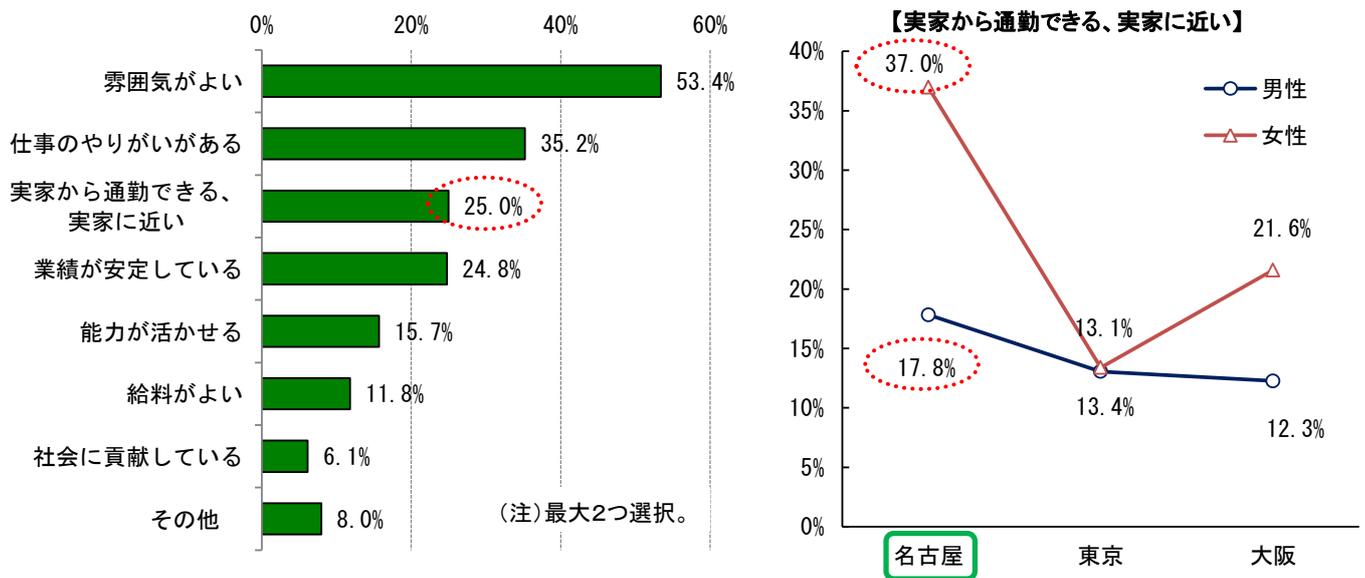
■続けたい □できれば続けたい □どちらでもよい □できれば続けたくない □続けたくない

## ○名古屋の新入社員は地元が大好き

最後に、名古屋地区の新入社員に、就職活動の際、何を基準に会社を選んだのか聞いたところ、最も多かったのが「雰囲気が良い」(53.4%)で、次いで「仕事のやりがいがある」(35.2%)となった(図表12)。

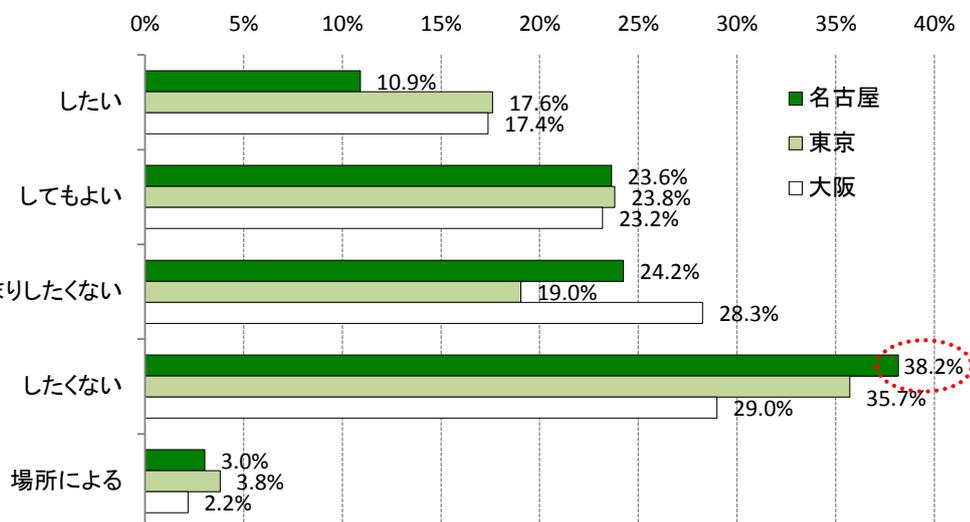
これらは東京や大阪と同じであるが、その次の第3位が名古屋地区の特徴で、「実家から通勤できる、実家に近い」(25.0%)がランクインした。男性、女性ともに東京や大阪と比べて回答割合が高く、家族の住む土地からなるべく離れたくないという傾向の強さが読み取れる。

図表12 会社を選んだ基準(名古屋地区)



また、こうした地元愛にあふれる名古屋の新入社員に対して、海外勤務をしてみたいかどうか聞いたところ、特に女性で、東京や大阪よりも「したくない」(38.2%)の割合が高くなった(図表13)。

図表13 海外勤務をしてみたいか(女性)



－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。